

認定 NPO 法人外国人看護師・介護福祉士支援組織（案）

令和 3（2021）年度の活動について

代表理事 青野淳子

- ① 本年度も 2 名の介護福祉士国家試験合格者が誕生しました。ドさん（写真左）とキエウさん（写



真右) (2019 年度留学生) です。ベトナムで JLPT N3 を、日本で N2 をとり介護課程に進学しました。昨年度の 2 名を併せて合格者は 4 名となりました。4 名すべて高得点での合格であったことは素晴らしいことです。また '介護を勉強できてよかった'、'介護が好きだ' と言ってくれています。嬉しいです。



- ② タイビン医療短大看護科には 7 名の留学希望者（現 3 年生）がいます。我々は 2021 年 4 月より 1 年間日本人講師が週 5 日オンラインで、ベトナム人講師が週 1 日対面またはオンラインで日本語教育を実施しました。2022 年 3 月末には模擬試験の結果 1 名が N2、3 名が N3、4 名が N4 相当以上に達したと推定されました。小人数クラスを編成すれば日本からオンラインで十分な日本語教育ができることがわかりました。残念ながら 2022 年 4 月入学の募集はなく、我々は 10 月入学募集を目指して日本語教育支援を続行することにしました（写真：オンライン授業）。



- ③ 当法人プログラムによる在留学生は、東京・近郊に 3 名、岐阜に 5 名、和歌山に 9 名います。東京・



近郊についてはアルバイトをする施設を訪問し対面で情報を収集することができました（写真左：「はなまるホーム三郷中央」訪問）。

ドさんは施設利用者さんのみならずスタッフからも敬愛の念を抱かれているようでした。誕生日にはスタッフがポケットマネーを出し合って彼に自転車をプレゼントしたと聞き、胸が熱くなりました（写真右：ドさん）。



我々は将来ベトナムで介護施設を開きたいという彼の夢を後押ししたいものです。岐阜と和歌山については施設訪問が許可されなかったため、オンラインで 1 人 30 分の面談をしました。2019 年来日の学生とは 3 年ぶりの顔あわせでした。皆、やや大人びており成長を感じました。'いい学校、いい施設でとても幸せ（先生、施設の人が優しく親切で何でも教えてくれる）'、来日直後は '方言がわからなくて困ったが今では方言を話せる'、'介護専門用語の意味を調べるのが大変だ'、'早く N1 をとりたい'、などと話してくれました。残念なことに外国人を差別する利用者さんがいるという声もありました。2020 年度に来日した学生の中には日本語会話がおぼつかない学生もあり心配になりました。日本での生活や学業の充実度は日本語力に依存しているように感じました。（写真：和歌山 YMCA 国際福祉専門学校入学式にて、2021 年 4 月）



- ④ 「タイビン地域における日本語学習者増加プロジェクト」は本年度も活動を保留しました。

〔謝辞〕 活動は法人会費や寄付金に加え、一般財団法人 MRA ハウス及び公益財団法人テルモ生命科学振興財団からの助成金により実施いたしました。厚く御礼を申し上げます。